

事業所名		泉北わわ	支援プログラム（参考様式）		作成日	R6年	9月	2日
法人（事業所）理念		ひとりひとりの子どもが持つ個性や特性を尊重し、それぞれに合った支援を提供します。 保護者とのコミュニケーションを大切にし、家庭と連携しながら支援を行います。						
支援方針		子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、心身の健康を保つための取り組みを行います。 家庭と連携した支援を行うために、懇談、電話、ライン等で保護者とのコミュニケーションを大切に支援していきます。						
営業時間		平日 11：00～17：30 長期休暇時等 9：30～15：30		送迎実施の有無	あり			なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	心身ともに健康に過ごせるように、衣服調節や体調管理を自分でできるようになる。 自分の気持ちの状態を意識できるようになり、無理をせず落ち着いて過ごせるようになる。						
	運動・感覚	毎日16：50～17：15まで公園であそび、身体を動かすことの楽しさ経験していく。 （曜日ごとに、中あてドッチ、大縄跳び、だるまさんが転んだ、鬼ごっこ、ボール遊び等の集団遊びをした後は、自由に遊ぶ。） 様々な感触あそびを、自分のペースで楽しむ。						
	認知・行動	自分自身の得意な事や苦手な事を理解し、他者との良好な距離を保ちながら行動できるようになっていく。						
	言語 コミュニケーション	いろいろな経験を重ねながら、他者とのコミュニケーション力を高めていく。 自分の気持ちを相手に伝えることや相手の気持ちを聞く経験を積み重ねていく。						
	人間関係 社会性	日々のお手伝い活動や公園での小集団での活動を通して、社会的スキルを学んでいく。 社会の中で、自分のペースを守りながら生活出来る方法を身につけていく。						
家族支援		保護者の思いに寄り添いながら、支援方法を考えていく。 必要に応じて他機関と連携し、本人だけでなく家族に対しての支援を行う。		移行支援	日常生活に必要なコミュニケーションスキルを身につけ、 地域の中で円滑に生活できるように支援していく。			
地域支援・地域連携		地域資源を活用し、社会の一員として生活できるように、他機関と連携して支援していく。 地域の自治会に、年に2回参加し連携を深める。		職員の質の向上	毎日ミーティングを行い、全員が発言できる機会を作ること、職場環境を良好に保てるようにしている。 外部研修や障害児育成事業を通して、職員の質の向上に努めている。			
主な行事等		夏休み期間は、プールを駐車場に設置し水遊びを楽しむ。 長期休暇や、下校の早い日を利用して外出を楽しむ。（図書館、防災センター、ファインプラザ、公園等） 昼食やおやつの買い物学習をする。 週に1度、PCで好きな画像を印刷して遊ぶ。 毎月避難訓練を行い、年に1度は消防通報訓練を行う。						